

2023年3月期 決算説明会

株式会社RYODEN

2023年5月23日
東証プライム
証券コード 8084

- 1. RYODENについて**
- 2. 2023年3月期 決算サマリー**
- 3. セグメント別の実績**
- 4. 2024年3月期 業績見通し**
- 5. 株主還元**
- 6. 中期経営計画の進捗状況**
- 7. Appendix**



1. RYODENについて



設 立：**1947年**

事業所数：**国内30拠点、海外21拠点**

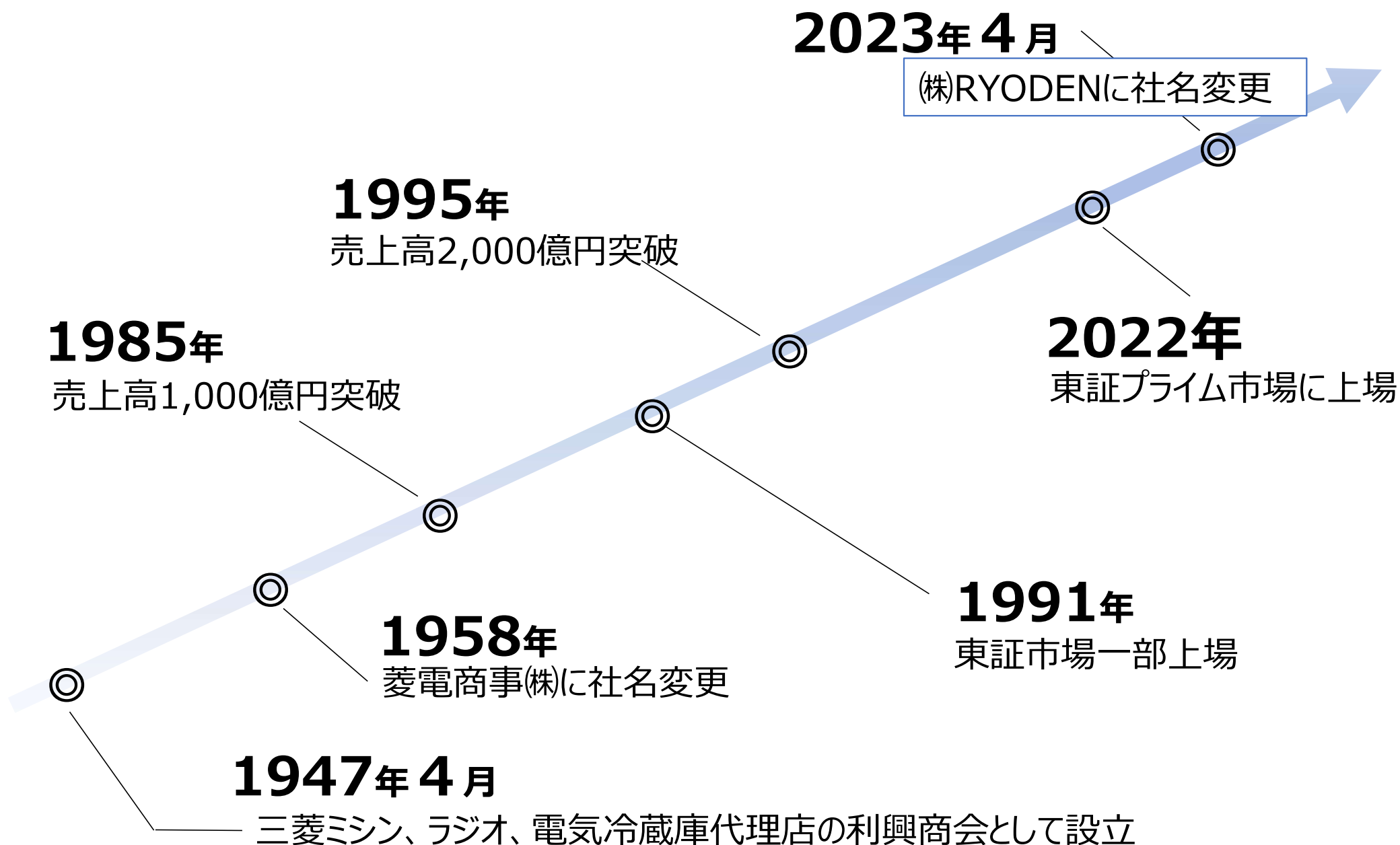
従業員数：**1,242名**

売上高：**2,603億円**

純利益：**53億円**

総資産：**1,510億円**

自己資本比率：**52.8%**





FAシステム



Order Made Elevator
NEXCUBE



三菱電機(株)展望用エレベーター

ファシリアDD



三菱電機(株)設備用パッケージエアコン

冷熱ビルシステム

X-Tech (クロステック)



次世代型植物工場「BlockFARM」



医療情報システム (イメージ)



ビデオカメラソリューション (FlaRevo)

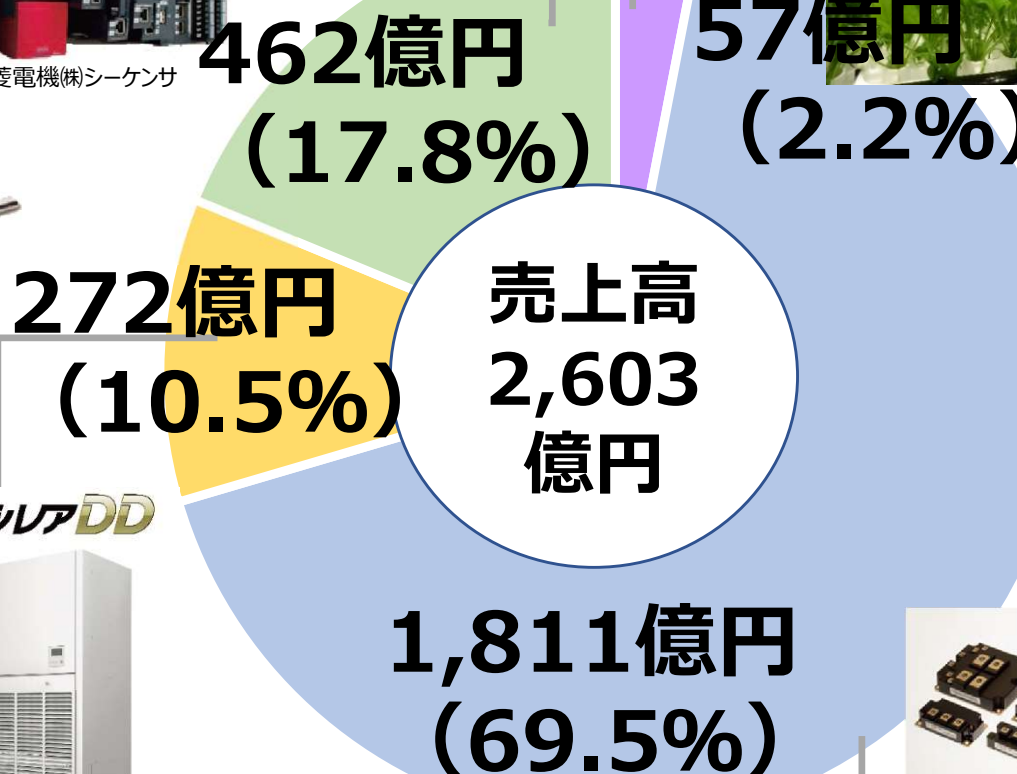


三菱電機(株)SiCパワーモジュール



日清紡マイクロデバイス(株)製アナログ半導体

エレクトロニクス





2. 2023年3月期 決算サマリー

2023年度3月期 決算サマリー



(百万円)	2022年3月期	2023年3月期	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	229,126	260,303	+31,177	13.6%
営業利益	7,062	9,380	+2,317	32.8%
経常利益	7,285	9,077	+1,792	24.6%
当期純利益	5,004	5,366	+362	7.2%
ROE ※1	6.9%	7.0%	—	+0.1pt.
ROA ※2	5.5%	6.2%	—	+0.7pt.
営業利益率	3.1%	3.6%	—	+0.5pt.

- エレクトロニクス事業の大幅増収・増益に加え、為替の影響もあり、売上高・各段階利益のすべてで過去最高を達成

※1 自己資本当期純利益率

※2 総資産経常利益率

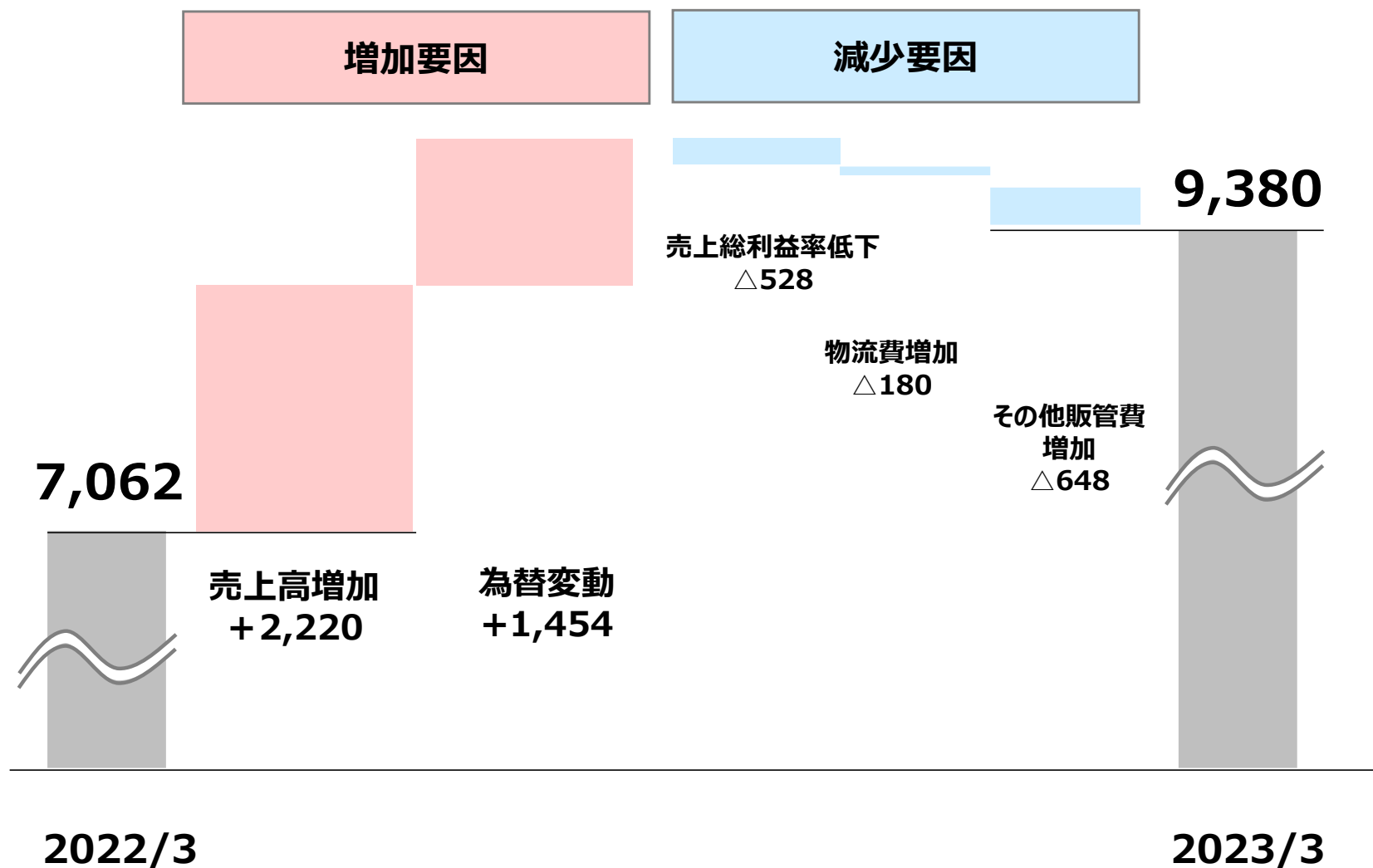
財務の状況



(百万円)	2022年3月期	2023年3月期	対前年 増減額	対前年 増減率
総資産	140,970	151,049	+10,078	7.1%
負債	66,204	71,150	+4,946	7.5%
純資産	74,766	79,898	+5,132	6.9%
自己資本比率	52.9%	52.8%	—	△0.1pt.

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期	対前年 増減額
営業活動CF	△7,623	△ 199	+7,424
投資活動CF	△1,326	△ 1,251	+74
財務活動CF	△883	△ 115	+767
現金及び現金同等物	11,577	11,091	△486

■ 売上増と為替変動の影響により増益

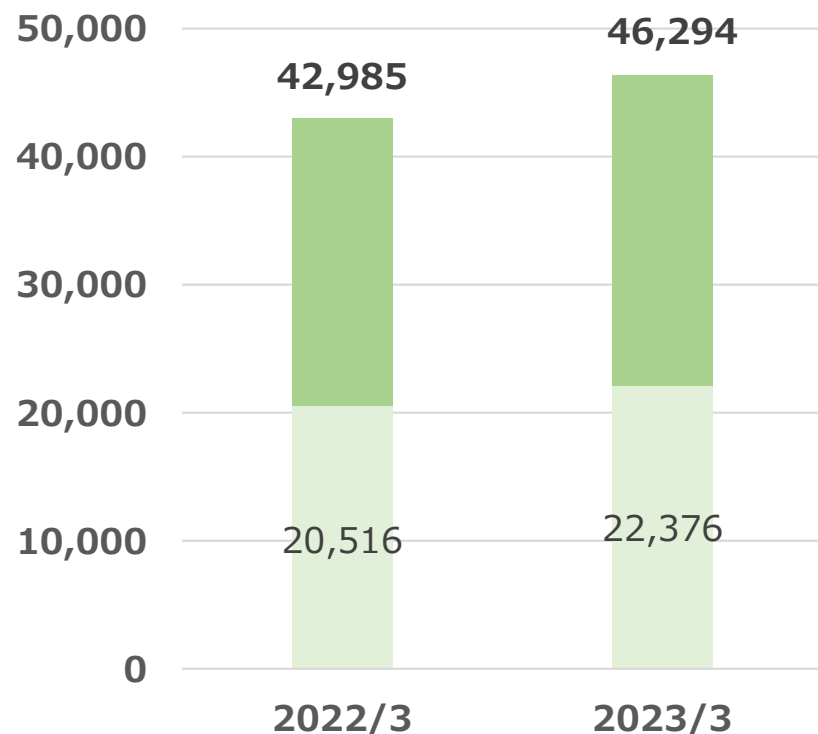




3. セグメント別の実績

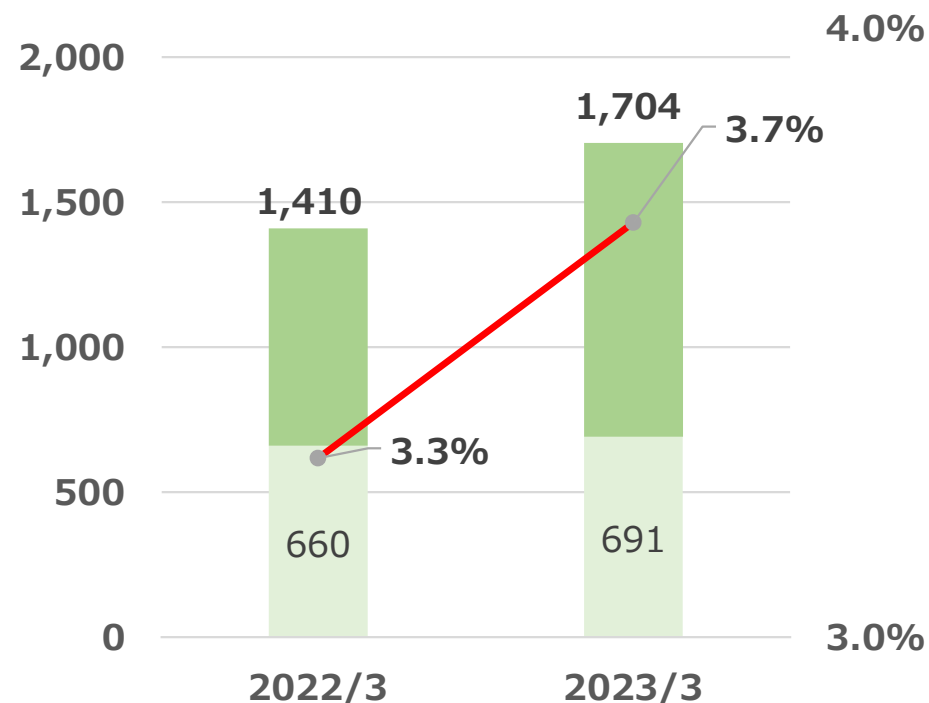
2Q 4Q

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

営業利益率 (%)



主なポイント

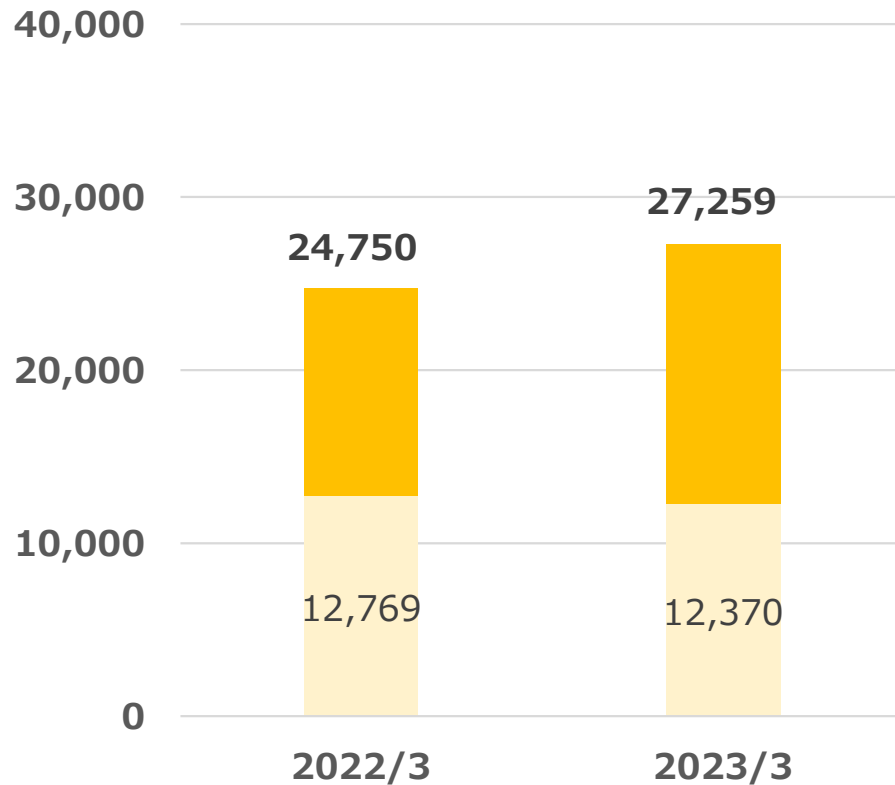
- ◆ 半導体製造装置は海外需要の落ち込みの影響から生産調整が行われ低調に推移
- ◆ 工作機械・一般産業装置向けの需要・自動車関連を中心とした設備投資案件は好調に推移

冷熱ビルシステム

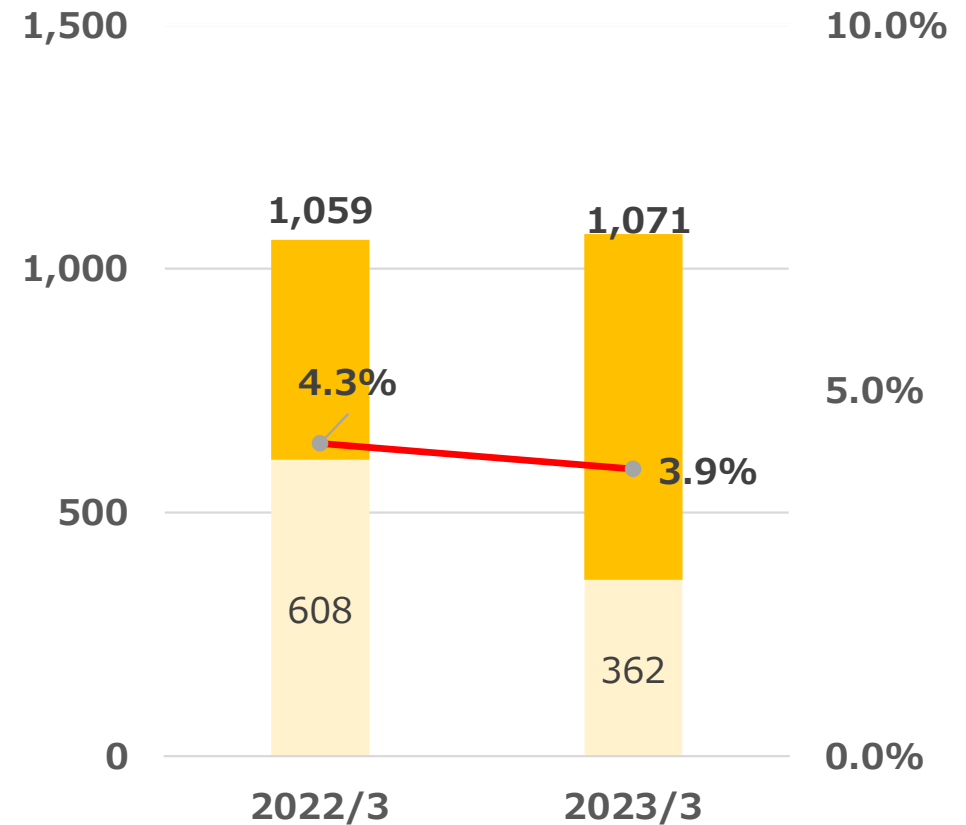


2Q 4Q

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



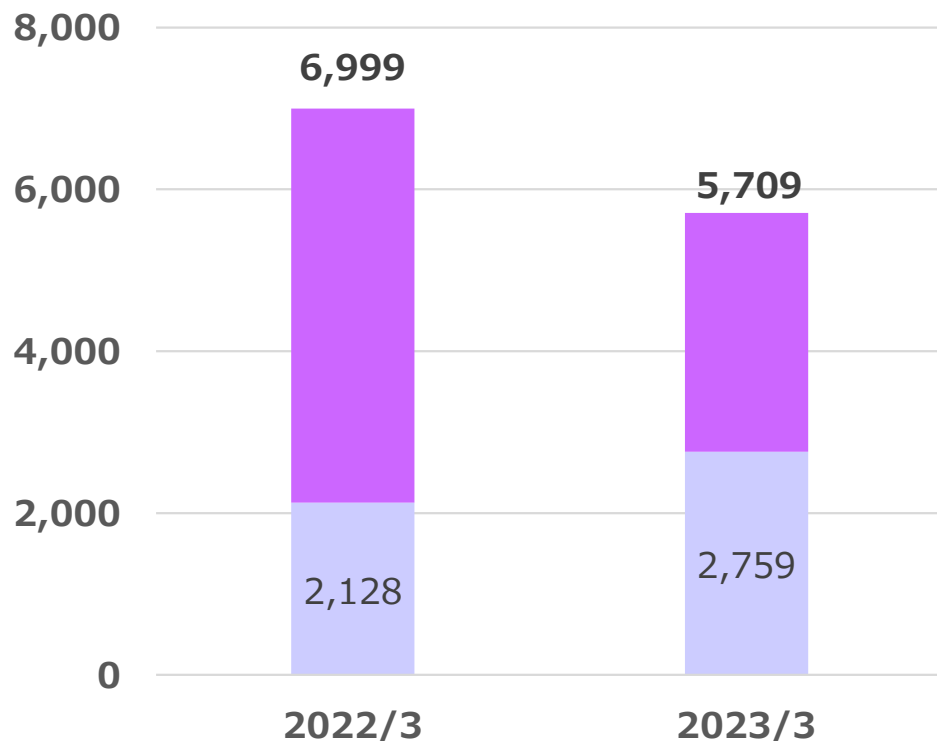
主なポイント

- ◆ 冷熱分野では、設備投資需要、業務用エアコン、冷凍機器等の販売が好調に推移
- ◆ ビルシステム分野では、資材高騰や納期長期化の影響を受け低調に推移

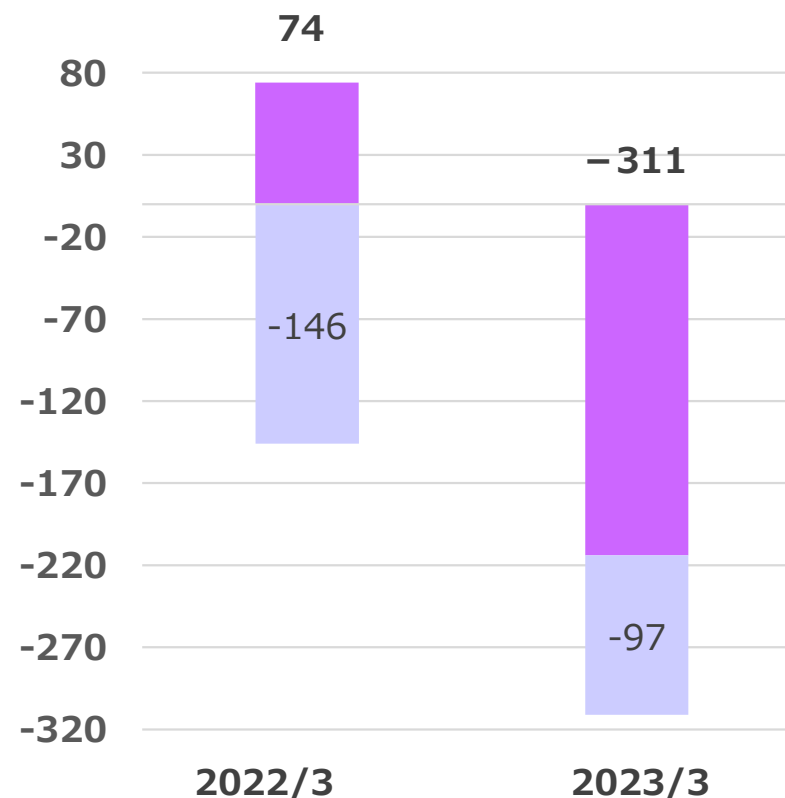


2Q 4Q

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



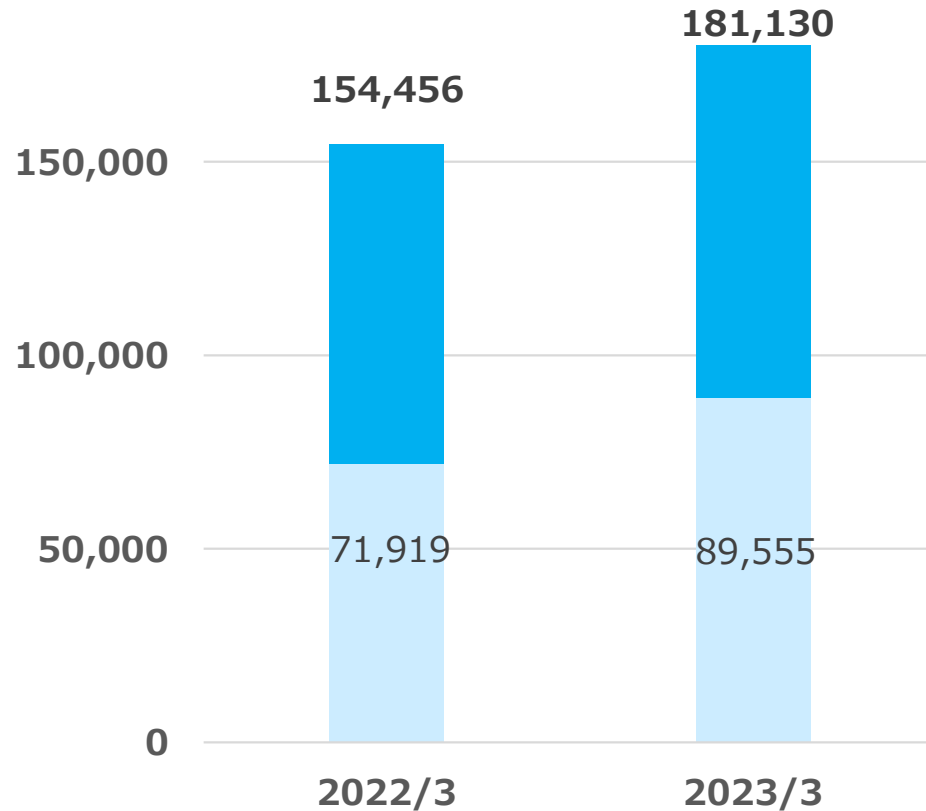
主なポイント

- ◆ ヘルスケアはサブスクリプションサービス等の販売が好調に推移
- ◆ ICTはIT関連機器、ビデオマネジメントシステム (FlaRevo)、RFID関連製品の販売が好調に推移
- ◆ スマートアグリは次世代型植物工場「Block FARM」でほうれん草の量産化に向け引き続き注力。ビジネスモデルの変革に取り組む

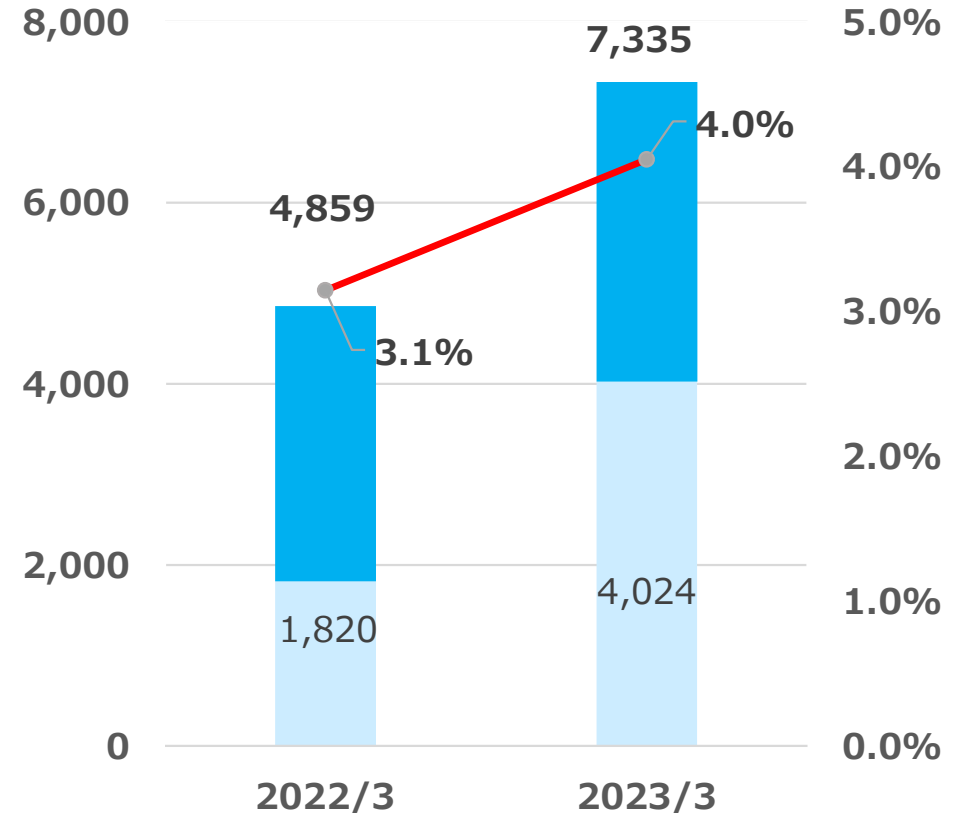


2Q 4Q

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円) 営業利益率 (%)



主なポイント

- ◆ 国内はエンタテインメント機器向けSoCやメモリ等の販売が好調に推移、産業機器市場も好調に推移
- ◆ 海外は産業機器向けアナログ半導体、パワー半導体、メモリ販売が好調に推移



4. 2024年3月期 業績見通し



当社を取り巻く環境認識

為替	景況感
想定レート USD130円	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インフレの長期化、ウクライナ情勢・米中対立などの要因により不安定な国際情勢・国内は個人消費が回復するものの物価高や海外経済の減速などが懸念 ✓ エネルギー価格の高止まり ✓ 世界的な人手不足を背景とした工作機械やロボットの省人化投資・EV関連の設備投資活発

各事業の環境認識

FA システム	<ul style="list-style-type: none"> • 半導体製造装置は外需の落ち込みから低調に推移 • 工作機械やEV関連をはじめとする設備投資全体としては回復基調。堅調に推移する見通し
冷熱ビル システム	<ul style="list-style-type: none"> • 空調市場はオフィス向けなどで投資が堅調に推移、製造業・サービス業いずれも投資の活発化が継続。建設市場は資材高騰・工期遅延問題が引続き懸念されるが一定の投資が継続
X-Tech	<ul style="list-style-type: none"> • 製造業を中心とした情報化、品質向上、セキュリティ強化などICTを活用した投資拡大 • 病院の再編・統合により医療機関のスマート化に向けたビジネスチャンス拡大 • 植物工場事業は顧客の投資抑制が継続するものの、2024年物流問題での流通改革に伴い一定の需要増が期待
エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none"> • 自動車関連の需要は半導体不足の改善による堅調な推移を見込むが、一部で在庫調整の影響が懸念。 • 産業関連市場は顧客の設備受注減による調整局面に入っており年後半は不透明な状況

2024年3月期 業績見通し | サマリー



(百万円)	2023年3月期	2024年3月期 見通し	対前年 増減	対前年 増減率
売上高	260,303	263,000	+2,697	+1.0%
営業利益	9,380	7,000	△2,380	△25.4%
経常利益	9,077	7,000	△2,077	△22.9%
当期純利益	5,366	4,800	△566	△10.6%

- 売上高は微増だがエレクトロニクスにおける前期の為替の影響がなくなること、市場の調整局面入りなどにより各段階利益は減益を予想

2024年3月期 業績見通し | セグメント



売上高 (百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 通期予想	対前年増減率
FAシステム	46,294	51,500	11.2%
冷熱ビルシステム	27,259	33,110	21.5%
X-Tech	5,709	7,550	32.2%
エレクトロニクス	181,130	170,900	△5.6%
全社合計	260,303	263,000	1.0%

営業利益 (百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 通期予想	対前年増減率・額
FAシステム	1,704	2,100	23.2%
冷熱ビルシステム	1,071	1,930	80.2%
X-Tech	△311	100	+411百万円
エレクトロニクス	7,335	3,400	△53.6%
全社合計 ※1	9,380	7,000	△25.4%

※1 全社費用含む



最終年度となる来年度での確実な達成に向け、「承継と進化」をキーワードに活動

施策	方針	具体的な取り組み
<p>戦略技術センター の設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全事業の基盤となるエンジニアリング事業の立案・推進 各事業に分散していた技術部隊を集約、効率化・応用力を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 基幹中核ビジネスと新技術をつなぎ成長戦略に合致したエンジニアリングを構築 ✓ 新事業の創出力強化、顧客向け提案/サポート力の強化及び知財戦略の立案などを実行
<p>デジタルトランス フォーメーション</p>	<p>「攻めのDX」・「守りのDX」 大胆かつ拙速を是とする超高速の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ リカーリングモデルを支えるビジネス推進基盤システムの構築 ✓ デジタルツール活用による業務の省力化・効率化とITシステム基盤整備とBI活用による経営データの可視化
<p>ブランド・バリュー・ イノベーション</p>	<p>すべてのステークホルダーに「事業創出会社」としての新生RYODENの価値を実感いただくべく当社のこれまでの「代理店」・「商社」というブランドバリューを変革</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 当社オリジナルソリューション（Remcesなど）の独自性、世界観、ストーリー性を言語化し事業ブランド化 ✓ 「B for B to C」を意識し新生RYODENのブランド価値の変革を目指し、ブランディング活動を推進



最終年度となる来年度での確実な達成に向け、「承継と進化」をキーワードに活動

事業	方針	具体的な取り組み
新規事業	<p>市場の潜在ニーズを掘り起こす3つの見える化（視える・観える・診える）を実現するためのナレッジの蓄積・拡大とデータリカーリングビジネス展開力を強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ICTでは監視カメラでは成しえない、お客さまが見るべき映像を提案し、気づきを提供する当社オリジナルのビジネスカメラシステム：FlaRevoの販売を拡大 ✓ ヘルスケアでは中小医療機関向けIT機器・システムの一括提案・長期保証（10年）サービス：トータルパックITの販売を拡大。医療機関のDX化・管理負担削減に貢献 ✓ スマートアグリでは蓄積した栽培データを活用し、次世代農業への参入を検討する企業向けにコンサルティング、エンジニアリング、データサービス提供といった当社独自のリカーリングビジネスを確立
基幹中核事業	<p>お客様の視点に立った価値向上に資する提案の実現と事業間シナジー効果を超えた強みの結実による当社ONLY ONEソリューションを確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 製造業DXを切り口に、加工・組立・搬送・検査を一気通貫で提案するトータルソリューションを提供 ✓ 暑熱対策としてのAREA（エリア）空調（クボタ空調（株）製）の全国販売とサービス体制を構築。アライアンス強化と事業スケールを拡大 ✓ FA・冷熱・エレクトロニクスの当社の強みを結実した統合監視制御システム：Remcesの販売拡大

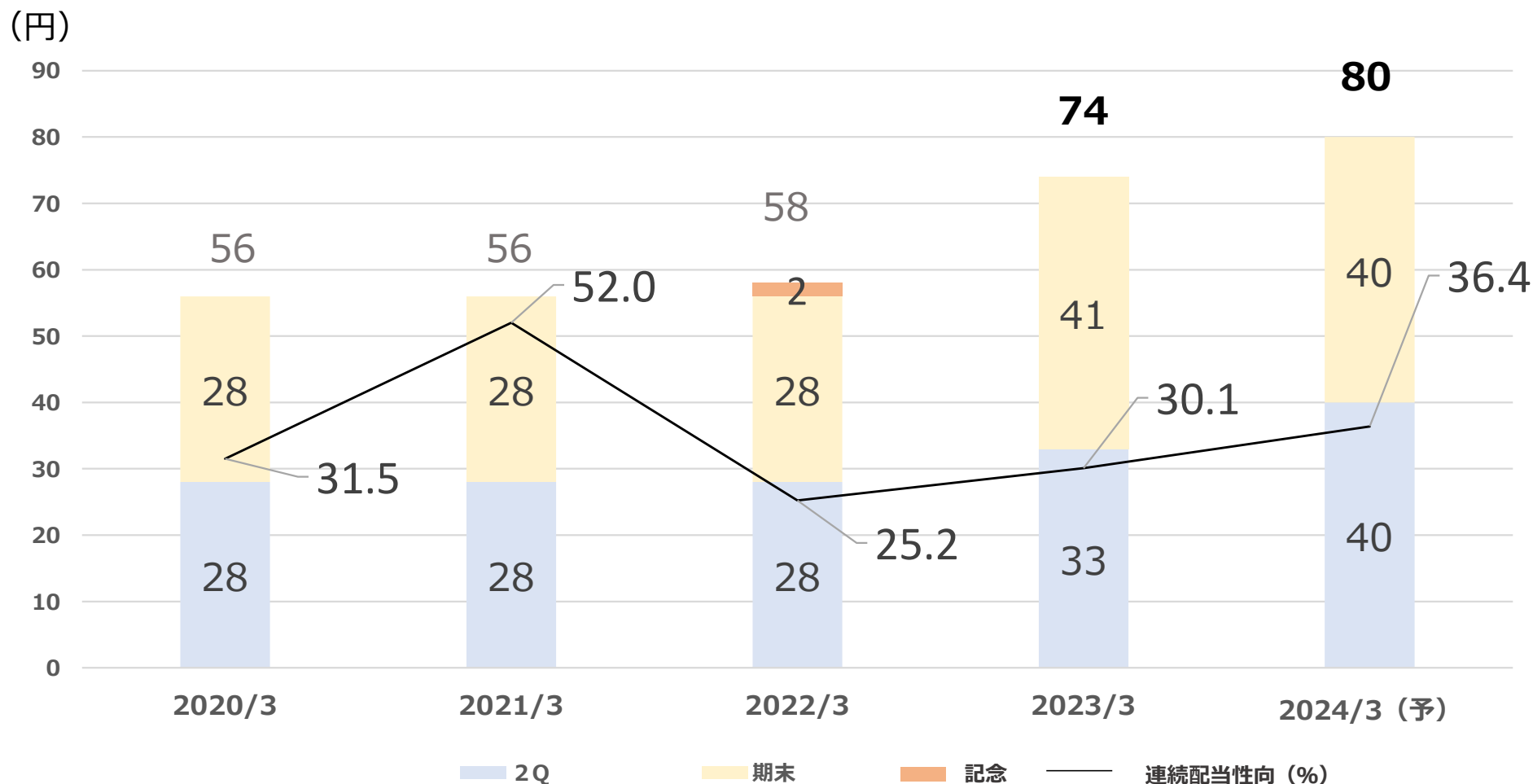


5. 株主還元

配当金・配当性向の推移



- ◆ 短期的な業績に連動せず中長期的な安定配当を維持・継続する配当方針に変更なし
- ◆ 2023年3月期の期末配当は8円/1株増配し41円
- ◆ 2024年3月期は通期で80円を予想。引き続き株主還元を強化

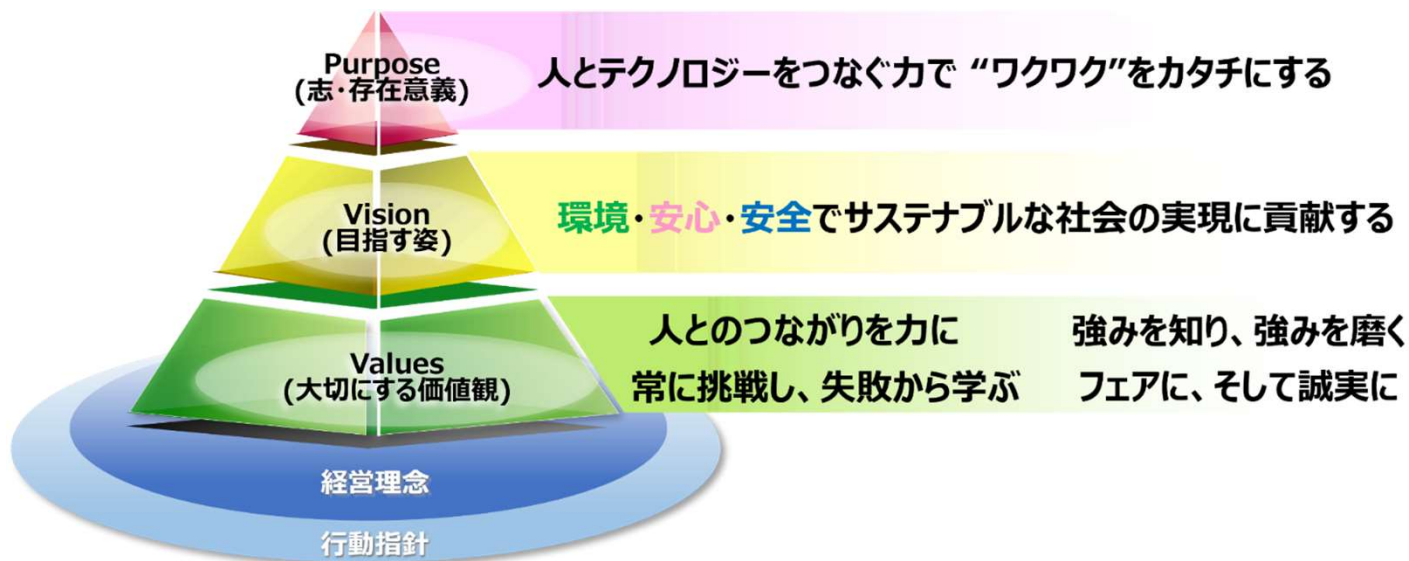




6. 中期経営計画の進捗状況

人とテクノロジーをつなぐ力で“ワクワク”をカタチにする

当社は2022年12月、当社が進むべき道しるべとなるパーパスを制定しました



2023年4月、菱電商事株式会社は
株式会社RYODENへ



※取締役社長 富澤による「社名変更にかける思い」を動画をご覧ください。

中期経営計画の進捗



中期経営計画 ICHIGAN 2024

(2020年度～2024年度)

2050年

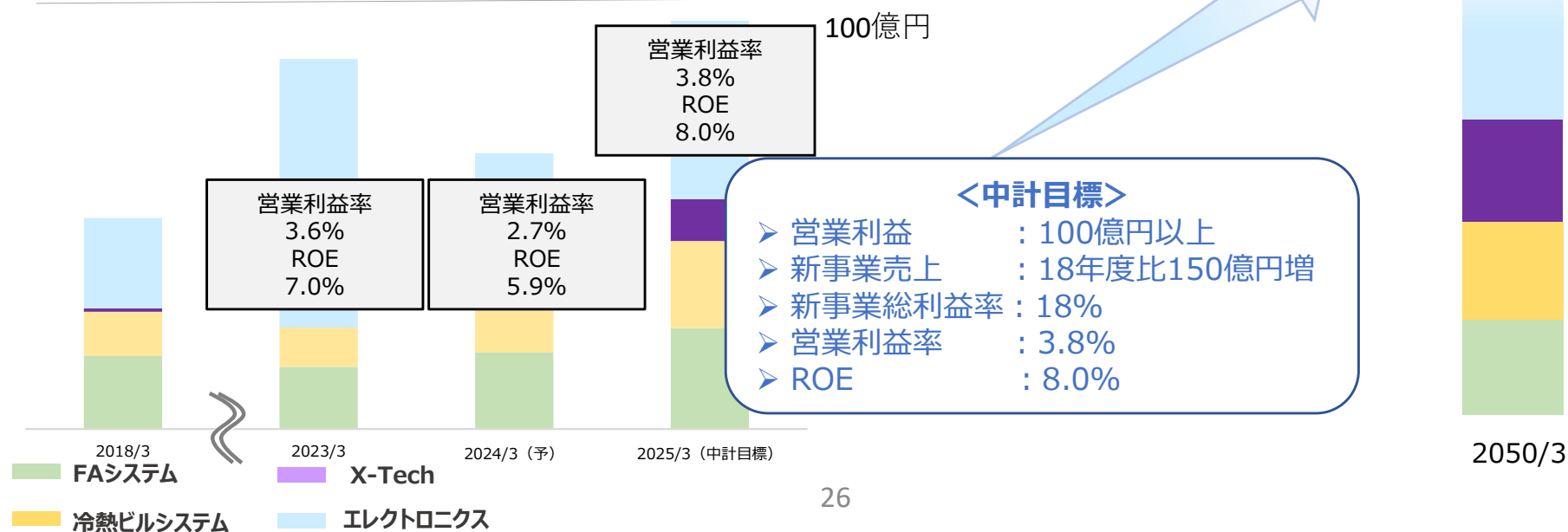
承継と進化

- ✓ 2023年3月期の実績（営業利益）は、新規事業の進捗に遅れがあったもののエレクトロニクスが業績をけん引し過去最高益を達成
- ✓ 新事業は業績への貢献が遅れているものの、ヘルスケアのサブスクリプションビジネスなど着実に芽が育ちつつあり、早期立ち上げに注力

事業創出会社へ

100年企業として環境・安心・安全でサステナブルな社会の実現に貢献

営業利益の推移



成長戦略



FAシステム・冷熱ビルシステム・エレクトロニクスで当社事業を支えつつ、これらの事業セグメントの枠組みを超えた「データリカーリングビジネス」を新規事業の柱とし、中計達成を目指す

新たな事業の創出

クラウド型統合管理システム：
Remces（レムセス）ローンチ

- 次世代型植物工場：Block FARMの竣工、世界初となるほうれん草の量産出荷開始
- 生産だけでなく流通・販売事業への本格参入による次世代バリューチェーンの構築に着手

中小医療機関向けサブスクリプションサービスの提供開始

食の安心・安全に資するペストコントロールを支援するクラウド型AIサービスの提供開始

ビデオマネジメントシステムFlaRevo、産学連携でバイオメティクスによるレーザー加工技術の確立etc....

新たな価値の提供へ

あらゆる場面で生産効率と環境を最適化する3つの見える（視える・観える・診える）化を実現

植物工場ビジネスのトップランナーとして

- ✓ 流通・需要変動に対応可能な単一生産から多品種変量生産工場へ
- ✓ 露地ものとは異なる野菜の高付加価値化（長鮮度、栄養価etc.）
- ✓ モノ売りからコト売りへ、サービス・データを提供する事業に変革、今までにない価値を提供

中小医療機関向けIT機器・システムの一括提案・長期保証（10年）サービス（トータルパックIT）の提供により医療機関のDX化支援と管理負担削減に貢献。病院のスマート化にも取り組む

HACCP*に基づく害獣監視サービスで食品工場などのDXを支援、省力・省人化した衛生管理状況の構築に貢献。「不安」を「安心」に *HACCP:食品衛生上の危害の発生を防止するために特に重要な工程を管理するための取り組み

- ✓ 製造業向けにICTを活用した現場の見える化（映像、データ）を実現し、業務効率の向上に貢献
- ✓ 金属や樹脂の表面に生物を模倣した形状加工では水性などの新たな機能を付与。微細加工技術で医療器具（ステントなど）にも応用。



「商社」の枠を超え、「事業創出会社」を目指します

「規模」ではなく「利益」を追求します

「差別化」ではなく「異質化」を目指します

環境・安心・安全でサステナブルな社会の実現、そしてそれを支えるグリーン発展を持続する社会の実現に貢献する企業として、すべてのステークホルダーと価値を共有し、企業としての責任を果たしてまいります。

RYODENグループは

100年企業として

環境・安心・安全で

サステナブルな社会の実現に貢献します※

※中期経営企画「ICHIGAN2024」で掲げたビジョン：2050年の当社の目指す姿です。



7. Appendix



- 単一品種から多品種・変量生産へ
- 露地ものの野菜とは競合しない、野菜の高付加価値化を実現
- 植物工場ビジネスのトップランナーとして、これまで蓄積したナレッジを結集し、これまでにない価値を提供



**高付加価値の植物工場野菜を生産する
閉鎖型植物工場**



病院内のITシステムを



見える

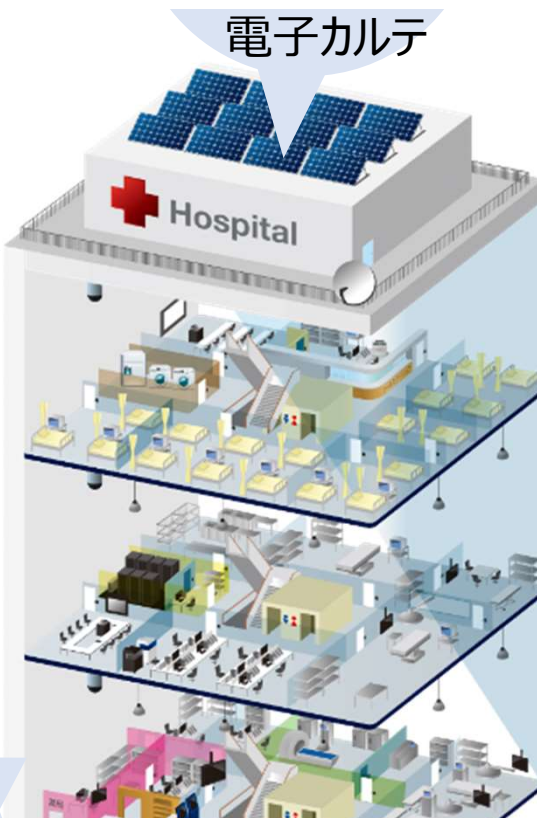
一つのパッケージとして10年間ご提供



案内表示医事会計



放射線画像各システム



電子カルテ

院内ネットワーク



院内スマホ



観える

クラウドによるデータ管理



診える

クラウドを活用し、病院のDXを支援し、
管理負担の削減に貢献



見たい瞬間の映像を的確に提供するビジネスカメラ



見るべき映像を提案し、
お客さまに気づきを提供

録画

現場を可視化

映像提案

映像にブックマークを設定し見たい映像を探す時間を大幅に短縮

共有／保存

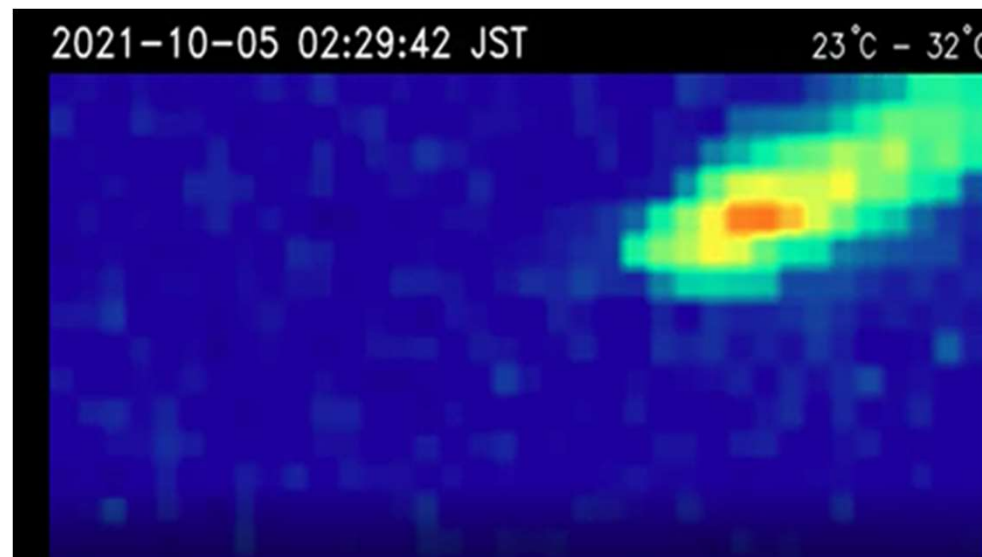
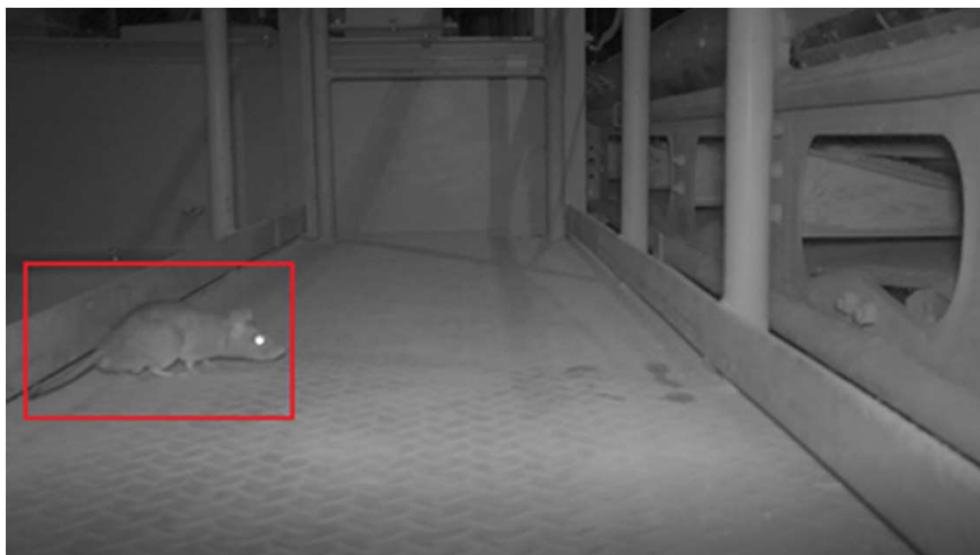
自動で映像を共有・保存



ペストコントロールに取り組む企業のDXを支援する
サブスクリプション型AIサービス

害獣監視サービス

HACCP*に基づく害獣監視サービスで食品工場などのDXを支援、省力・省人化した衛生管理状況の構築に貢献。「不安」を「安心」に



オープンプロトコルで収集したデータの可視化・分析・制御により**生産効率、エネルギー効率、環境最適化**を実現するための統合監視制御システム





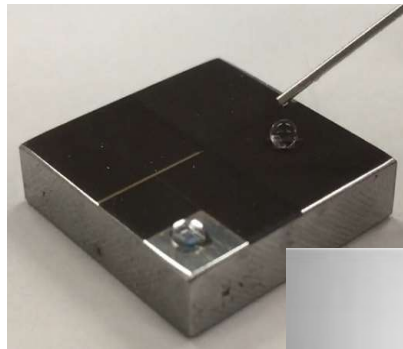
モノの入出荷記録をカンタンに

自動認識技術で入出荷を記録し各拠点での在庫を把握



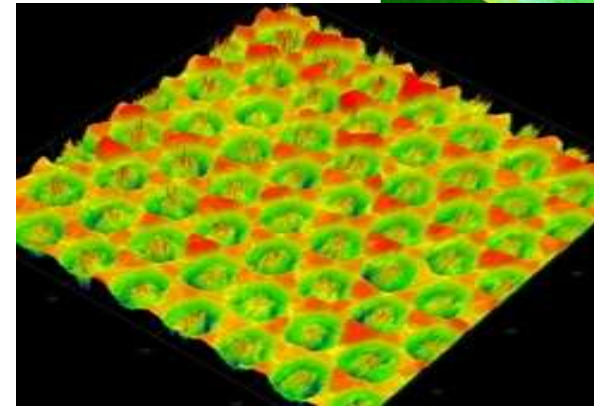
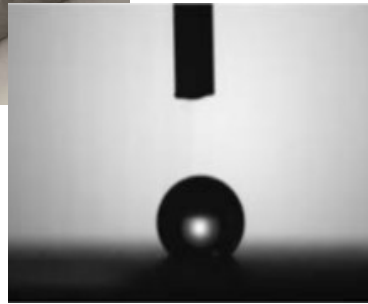
無駄なコストと在庫の削減に貢献

微細加工レーザー技術でこれまで化学で解決していたものを物理で解決



撥液

微細周期構造(凹凸形状)を生成することで水の接触角をコントロール。撥水機能をもつ表面を実現

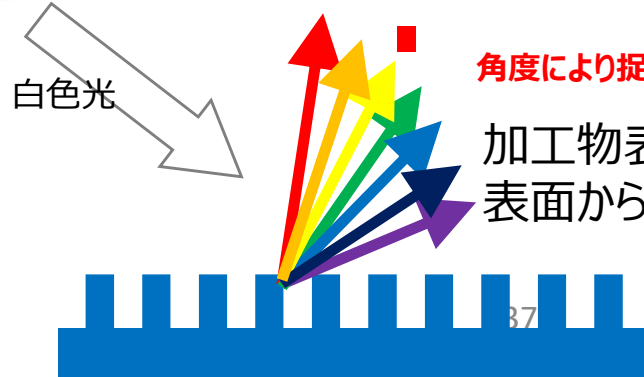


加工表面の立体画像

加飾



加飾

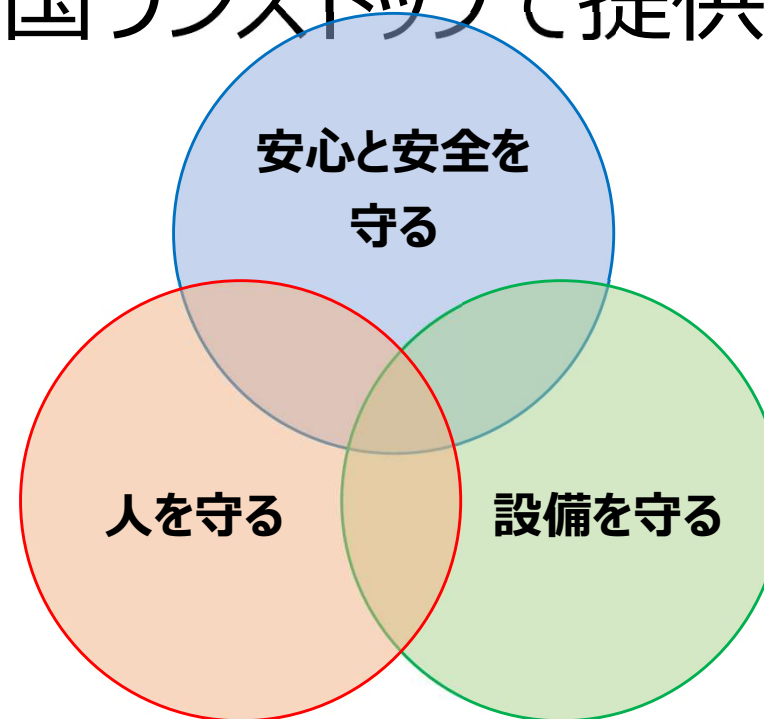
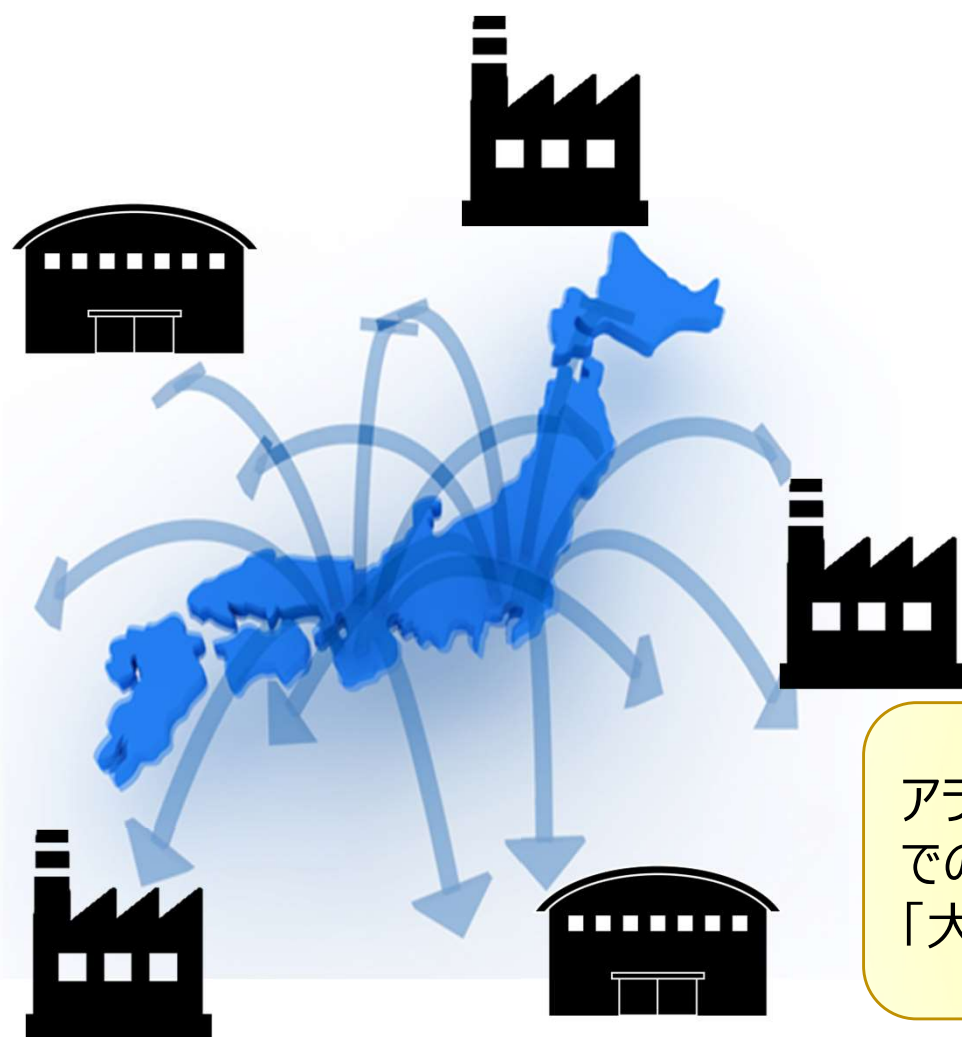


角度により捉える光の色が変化

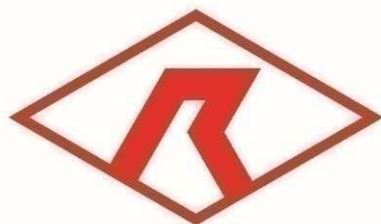
加工物表面に回折格子(微小な凹凸形状)を形成。表面からの光の反射角度が異なるため虹色に見える。



学校・製造現場などの暑熱対策のためのAREA 空調機の販売・サービスを全国ワンストップで提供



アライアンス強化と事業スケールを拡大し全国規模での提案～販売～サービス体制を構築。お客さまの「大切なもの」を守ります。



RYODEN

〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15

総務部 法務・株式課

e-mail: ryoden_ir@mgw.ryoden.co.jp

TEL: 03-5396-6112

FAX: 03-5396-6448

資料の取り扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
- ・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動等